

---

## 山本光正年譜

**1944年**（昭和19年）

7月 東京都台東区に生まれる

**1966年**（昭和42年）

3月 法政大学文学部史学科卒業

4月 法政大学大学院人文科学研究科日本史学修士課程入学

**1970年**（昭和45年）

3月 法政大学大学院人文科学研究科日本史学修士課程修了

4月 神奈川県企画調査部県史編集室事務嘱託

**1974年**（昭和49年）

4月 千葉県事務吏員に任命される

**1980年**（昭和55年）

10月 文化財保護部管理課国立歴史民俗博物館（仮称）設立準備室に採用される

**1981年**（昭和56年）

4月 国立歴史民俗博物館助手研究部に転任される

**1982年**（昭和57年）

4月 国立歴史民俗博物館助教授研究部に昇任される

**1999年**（平成11年）

4月 総合研究大学院大学助教授文化科学研究科を併任される

メディア教育開発センター助教授研究開発部を併任される

**2007年**（平成19年）

4月 人間文化機構国立歴史民俗博物館教授研究部に昇任される

総合研究大学院大学担当教授を任命される

---

## 山本光正業績目録

### I 著書

#### 1 単著

- 1978年 7月～1980年 8月 『中山道分間延絵図』第4巻～第13巻・解説篇 東京美術  
1987年 3月 『房総の道成田街道』聚海書林  
1990年 11月 『水戸佐倉道分間延絵図』解説篇 東京美術  
1999年 9月 『関宿通多功道見取絵図』解説篇 東京美術  
2000年 12月 『幕末農民生活誌』同成社  
2005年 2月 『江戸見物と東京観光』臨川書店  
2006年 6月 『街道絵図の成立と展開』臨川書店  
2008年 7月 『東海道の創造力』臨川書店

#### 2 編著

- 1996年 12月 『東海道神奈川宿の都市的展開』文献出版  
2010年 3月 『国立歴史民俗博物館研究報告 第155集 旅—江戸の旅から鉄道旅行へ—』国立歴史民俗博物館

#### 3 監修

- 2002年 5月 『千葉の道千年物語』千葉日報社

#### 4 分担執筆

- 1975年 1月 「近世神奈川の交通について」『近世神奈川の研究』名著出版  
1979年 10月 「近世上総における交通の展開」『近世の都市と在郷商人』豊田武編 巖南堂書店  
1979年 12月 「房総交通史論考」『日本近世交通史研究』吉川弘文館  
1998年 10月 「旅から旅行へ」『近世交通の史的研究』丸山雍成編 文献出版  
1999年 10月 「江戸への道・江戸からの道」『大江戸歴史の風景』加藤貴編 山川出版  
2003年 3月 「近世房総の街道・成田街道」『房総と江戸湾』川名登編 吉川弘文館  
2003年 7月 「江戸・東京の陸上交通」『大江戸透絵図』北原進監修 江戸開府400年記念事業実行委員会  
2008年 7月 「つくられた景観」『歴史研究の最前線』10号 総研大・国立歴史民俗博物館

### II 論文

- 1969年 3月 「東海道における人馬賃銭について」『法政史学』21号  
1971年 3月 「継飛脚の財源について」『法政史学』23号  
1973年 2月 「相州矢倉沢往還について」『神奈川県史研究』19

- 
- 1975年 5月 「近世における関東の陸上交通について」『三浦古文化』17
- 1976年 2月 「近世における房総の交通について（上）」『千葉県の歴史』11
- 1976年 3月 「日光例幣使道について」『佐野市史料集』
- 1976年 8月 「近世における房総の交通について（下）」『千葉県の歴史』12
- 1976年 11月 「東海道における人馬賃銭の構造について」『藤沢市史研究』9
- 1978年 3月 「関東における交通の形成と展開」『交通史研究』3
- 1978年 3月 「上総における組合村と交通組織について」『市原地方史研究』9
- 1979年 3月 「房総海辺防備と交通」『歴史地理学会会報』102
- 1981年 9月 「近世における馬借の存在形態」『まげい』3
- 1983年 3月 「近世における江戸湾交通について」『国立歴史民俗博物館研究報告』2
- 1984年 5月 「東海道名産・土産考」『まげい』5
- 1985年 4月 「旅日記にみる近世の旅について」『交通史研究』13
- 1985年 9月 「旅からみた銚子と洗濯女」『まげい』6
- 1986年 3月 「上総国伊南通往還について」『国立歴史民俗博物館研究報告』11
- 1987年 3月 「諸国人にとっての江戸」『国立歴史民俗博物館研究報告』14
- 1988年 7月 「江戸周辺の街道一特に中原街道を中心に」『史誌』（大田区史研究）29
- 1991年 3月 「近世及び近現代における道標の成立と展開」『国立歴史民俗博物館研究報告』32
- 1991年 11月 「旅と関所」『国立歴史民俗博物館研究報告』36
- 1993年 2月 「五街道付属街道に関する一考察」『国立歴史民俗博物館研究報告』50
- 1993年 3月 「五街道と水戸佐倉道」『葛飾区文化財専門調査報告書』3
- 1994年 2月 「川柳よりみた近世の旅」『千葉敬愛短期大学研究紀要』16
- 1995年 2月 「横浜開港と房総地域における豚の飼育」『千葉敬愛短期大学研究紀要』17
- 1996年 10月 「近世における地域旅行圏と長期の旅—上総国望陀郡大谷村の場合」『日本海地域史研究』13輯
- 1997年 1月 「上総国望陀郡大谷村における加持・祈祷」『国立歴史民俗博物館研究報告』70
- 1999年 3月 「近世関所の通行について」『博物館研究紀要』6（葛飾区郷土と天文の博物館）
- 1999年 3月 「鉄道の発達と旧道への回帰—東海道を歩くということ」『国立歴史民俗博物館研究報告』82
- 2003年 3月 「観光地としての東京」『国立歴史民俗博物館研究報告』103
- 2003年 10月 「近世・近代の女性の旅について—納経帳と絵馬を中心に」『国立歴史民俗博物館研究報告』108
- 2010年 3月 「旅行案内書の成立と展開」『国立歴史民俗博物館研究報告』155

### Ⅲ 自治体史

- 1981年 3月 『神奈川県史』通史編2 近世（1）「交通路の設定」（第2章第3説）神奈川県史編集室編 神奈川県
- 1986年 3月 『市原市史』中巻「近世の交通と房総」（第3章5節1項）市原市教育委員会編
-

---

市原市

- 1994年 3月 『下総町史』通史・近世編「近世の陸上交通と房総の道」(第7章1節)「成田・銚子道」  
(同2節) 下総町史編さん委員会編 下総町
- 1998年 3月 『天津小湊の歴史』上「交通の展開」(第5章1～3節) 天津小湊町
- 2002年 3月 『大栄町史』通史編中巻・近世「交通の発達」(第10章) 大栄町史編さん委員会  
大栄町
- 2008年 3月 『八千代市史』通史編・上「交通の発達」(第7章) 八千代市史編さん委員会編  
八千代市

#### IV 史料紹介

- 1979年 5月 「幕末における上総国長南宿騒擾史料」『まげい』1
- 1980年 5月 「『五街道分間延絵図』と関連資料の紹介」『まげい』2
- 1984年 3月 「史料紹介『金毘羅参詣道中日記』」『国立歴史民俗博物館研究報告』4
- 1992年 3月 「永禄六年北国下り遣足帳」『国立歴史民俗博物館研究報告』39
- 1994年 3月 「『梅園毛利氏採葉紀行図会』について」『船橋市史研究』9
- 2003年 12月 「国立歴史民俗博物館蔵『番船御用留』」『交通史研究』53

#### V その他

- 1977年 2月 「渡し船」『歴史公論』3巻2
- 1983年 4月 「風与思うこと—近世神隠し考」『春秋』246
- 1983年 10月 「村の道」『歴史公論』9巻10
- 1980年 8月～1994年 12月 「房総の記録」『統計千葉』396～568(170回連載)
- 1990年 3月 「かつしかの道」『葛飾区文化財専門調査報告書』1
- 1991年 3月 「かつしかの道」『葛飾区文化財専門調査報告書』2
- 1996年 2月 「大多喜街道(上)」『房総路』34
- 1998年 3月 「田山花袋と旅行案内書」『房総路』37
- 2002年 3月 「無銭徒歩旅行」『アジア遊学』37
- 2004年 2月 「江戸時代の東海道はこんなに魅力的だった」『歴史街道』190
- 2005年 1月 「成田への道と旅」『地図中心』388
- 2006年 3月 研究ノート「木更津船」『東京湾の船』(千葉県立上総博物館展示図録)
- 2006年 8月 講演録「旅から旅行へ—近世・近代の旅行史とその課題」『交通史研究』60
- 2009年 7月 「東海道の創造力」『汎交通』109巻7号